

## 令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

**【市町 目標】**  
 ○「読み解く力」の視点を踏まえた授業作りの推進・充実を図る。  
 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」のツールとしてのICTの効果的な活用による情報活用能力の育成を図る。  
 ○いじめを許さず、認め合い、支え合い、高め合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

**【学校 目標】**  
 ○佐山学びのスタイルの定着と家庭学習の充実を図るとともに、安心して学べる学習集団作りにより、確かな力を育む。  
 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」のツールとしての効果的なICTの活用を推進する。  
 ○自ら考え、伝え合いを通して、認め合い、支え合い、高め合う学級、学校づくりの充実を図る。

**【現状と課題】**  
 ○視点1 佐山学びのスタイルは定着してきた。さらに主体的に取り組む家庭学習につながる深い学びをめざしたい。  
 ○視点2 安心して学べる学級づくりはできているが、主体的に話し合う学習集団を育てる必要がある。  
 ○視点3 学び合いと振り返り、自ら主体的に話し合う力を身に付けるための取組を全校共有して推進する必要がある。

### 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「佐山学びのスタイル」による授業改善を継続するとともに、読み解く力の視点を踏まえた授業づくりをICTを効果的に活用しながら推進する。	・児童「家庭学習にとりくんでいる」肯定的評価90%		
	・保護者「子どもは家庭学習に取り組んでいる」肯定的評価90%		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○一人一人が考えをもち、少人数や全体での学び合いを推進し、主体的・対話的で深い学びを目指す。	・児童「学級で話し合っている。」肯定的評価90%		
	・教職員「佐山学びのスタイルに取り組めた」肯定的評価90%		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○学習や生活の取組について、すべての教職員が同じ方向を向いて、「共通理解」「共通実践」する。	・児童「学校は、毎日楽しい。」肯定的評価90%		
	・教職員「進んで学び合う授業づくり」肯定的評価90%		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。  
 ・4月の職員会議において校長が教育目標や学校経営等について伝える。それを受けて研究推進委員会を組織し、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について校内研究全体会で説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりで保護者や地域に発信する。  
 ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、校内研究主任が中心となって、組織的に実践につなげる。  
 ・職員会議で、取組の状況等を共有し、全国学力・学習状況調査等の調査における数値をもとに、改善策についてまとめ、後半の実践につなげていく。2月の校内研究全体会で、今年度の取り組みの検証や来年度への改善点を話し合

今年度の取組の成果と課題